

令和元年度市政懇談会会議録

開催日時：令和元年5月20日（月） 午後6時00分～午後7時00分

開催場所：境総合文化センター 小ホール

参加者：120人

市側出席者：五十嵐市長、吉田副市長、徳江教育長

大澤総務部長、細井企画部長、木暮財政部長、新井市民部長、浅見環境部長、
大山健康推進部長、須永福祉こども部長、町田長寿社会部長、栗田経済部長、
小暮建設部長、六本木都市計画部長、宮野公営事業部長、西川水道局長、
五十嵐消防長、高尾経営企画部長（市民病院）、齊藤会計管理者、下城議会事務局長、
光山監査委員事務局長、村井教育部長

1 開 会 司会進行（企画調整課長）

2 特別職の紹介・市職員（部長職）の紹介

3 市長あいさつ

皆様、こんばんは。ご紹介いただきました五十嵐でございます。

本日は皆様には大変お忙しい中、また、夜分でお疲れのところ市政懇談会に多くの皆様にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。この市政懇談会でございますが、年度初めにこの一年伊勢崎市がどのような方向で事業を進めていくか、いくつか具体的な事例を挙げながらご報告をさせていただいて、また、それに対しまして、皆様からご意見など伺いながら、より良い伊勢崎を目指してまいりたいという趣旨のもと、開催をしているものでございます。それでは時間の限りもでございますので、始めさせていただきたいと思っておりますが、ぜひスクリーンをご覧くださいながら、話を聞いていただければありがたいと存じます。

4 重点政策の概要

(1) 令和元年度重点政策について <市長説明>

(2) 質疑応答 <特別職及び全部長職>

※質問及び回答の要旨を掲載しています。

◆小学校のフェンス、立木について

【質問】

私の要望ですが、小学校のブロック塀をフェンスにすることで我々も安心してありますが、そのフェンスは今までと同様に目隠しフェンスなのか、それとも隙間があるのか、ということが1点。もし隙間のあるフェンスだと校庭の東側や道路、近隣住宅の庭にも落ち葉が非常に多いということで、区長どうにかならないかと要望がありました。

また、現在の基礎に対して、通常であればその上にフェンスを作るとというのが我々の考え方だったのですが、業者に聞いたところ、基礎の横にコンクリートがあるため、それを避けて内側に約30cmから40cmほどの場所にフェンスが出来るとのことでした。そのま

までです、その隙間に草が生えてしまいます。小学校の場合は除草剤が使えないものですから、道に出てきてしまう事もあると思いますので、対策を考えてもらいたいと思います。

また、小学校の立木が高く、住民から雷が落ちたら大変だと話をいただいていますので、今後の対策をお聞かせください。

【回答】（教育部長）

小学校のフェンスについては、工事の関係で細かい隙間が出来るという事を把握していませんが、もし隙間がありそのことにより落ち葉などが溜まるなど、不具合がある場合には、フェンスの所に網を張るなどの対策を検討させていただきます。

また、隙間が出来ると草が生えてしまうのではないかとということで、担当者と相談し、除草の回数を増やすなどを検討させていただきます。

学校内の立木については、今後、雷雨が増えてくると思いますので、子どもたちにはそのような場合は木に近づかないよう指導をしていきたいと思いますが、木の剪定については検討させていただきます。

【質問者】

立木の件ですが、非常に高い木があるので、上を切ってもらえれば安全になると思いますので、考えていただきたいと思います。

【回答】（教育部長）

相談させていただきますして、必要以上に高い木については伐採などを検討させていただきます。

その後の対応状況

小学校のフェンスについては、5月27日（月）に質問者ご本人と現地立会いの下、工法などについて説明しご理解をいただきました。また、雑草や落ち葉対策については、学校と相談のうえ対応予定です。

また、小学校の立木については、落雷などの危険性がある高木を落葉前に伐採及び剪定を実施予定です。

◆障害者センターまでの道路、地域包括ケアシステムの活動について

【質問】

私は長年、障害者の支援活動をさせていただいていますので、要望をさせていただきます。

伊勢崎駅北側の障害者センターについて、すでに市に要望が上がっているかもしれませんが、障害者センターに行く道を実際に歩いたところ、点字ブロックが途中で切れてしまっており、視覚障害者にとっては歩くことが困難で、交差点があるところでは普通の人でもどのように渡って良いのか分からない状態です。視覚障害者はもちろんですが、車椅子でも困難だと思います。せつかく障害者センターが出来て、利用者が増えているということですので、早急に対策や配慮をしていただきたいと思います。

関連のためもう一つですが、地域包括ケアシステムの活動について、今、認知症予防あるいは認知症サポーター養成講座など頑張らせていただいているのですが、地域には障害者もた

くさん住んでいます。したがって、高齢者支援センターの中で、早急に障害者も対象にした活動をしていただきたいと思います。地域の障害のある人たちは、なかなか自分で発信出来ない人が多く、高齢者支援センターのような施設が頼りになると思います。高齢者はもちろん、障害者に対しても活動が出来るようにしていただきたいと思います。

【回答】（都市計画部長）

最初に、伊勢崎駅の北側にある障害者センターに行く間の点字ブロックなどの関係ですが、駅の周辺で区画整理事業が着々と進められており、大きな歩道のある道路については駅を中心として点字ブロックの設置を行っています。障害者センターまでの道路については、区画整理事業の区域外でありまして、現在歩道はありません。点字ブロックなどを設置するためには警察と協議するなど、関係機関と調整をする必要がありますので、現地を確認しながら点字ブロックに限らず、安全に通行できるよう検討していきたいと思っています。

【回答】（長寿社会部長）

地域にある高齢者支援センターで、障害者も相談などを受け付けてもらえないかという趣旨のご質問だったかと思います。

9つの圏域にある高齢者支援センターについては、高齢者以外の方が来られましても、お話を伺うことはできますが、最終的には本庁や支所にある障害者の担当に繋いでいるのが今の状況です。今後については検討させていただきます。

◆幼児の交通安全について

【質問】

幼児の交通安全について伺います。

昨今の大きな話題として、幼児の交通事故、例えば大津市で2人の幼児が亡くなったような交通事故が社会問題化しています。私事ですが、孫2人が保育所に通っており、つい先日も華蔵寺公園に遠足に行ったと話をしていました。今後も、幼稚園や保育園において散歩などで街中に出たり大きな道路を渡る機会があると思います。伊勢崎市としての、特に信号周りの交通安全対策と新たな取組がありましたらお聞かせいただきたいと思います。

【回答】（環境部長）

現在、大きな事故、特に小さい子どもが命を落とすという、いたたまれない事故が新聞などで取り上げられています。事故を無くすためにはどうしたら良いのかというのはなかなか難しいところではありますが、当然信号などがある交差点は事故が多発します。交通事故の多発地点は原因がある程度考えられますので、整備的な部分であれば市で対応出来ることもありますし、信号の設置などは警察などとも協議をする必要がありますので、いずれにしても安全対策を実施していきたいと思っています。ちなみに、大津市は緩衝材を設置するなどの対応をしていました。

市内のどこで交通事故が起こるか特定するのは非常に難しいところではありますが、交通事故の多い箇所については対応を検討していきたいと思っています。また、運転をする際には安全運転を心掛けるよう、運転する方の意識改革を呼びかけるということが大事だと思います。

本日まで春の全国交通安全運動を実施し、区長をはじめたくさんの方に協力をさせていただきました。この交通安全運動では、様々なチラシなどを含め呼びかけを行っています。今後もこのような地道な運動を行い、運転者の意識改革を含め啓発運動を年間通して行っていきたく考えておりますので、よろしくお願いいたします。

【質問者】

運転者も含めたハード面、ソフト面の対応の検討をお願いします。

【回答】（教育長）

小学1年生から中学3年生までの子どもについて、本市の対応状況についてお答えさせていただきます。

本市には通学路安全対策協議会があり、学校や保護者、区長などに子どもたちの通学路の安全点検をしていただいています。なぜ通学路を決めているのかというと、すべての道を直すことは出来ませんので、可能な限り安全な経路で短い距離を通り、学校に通っていただくということで、地域の皆さんのご協力により通学路を決めています。さらに、通学路の中には様々な危険がありますので、学校や保護者、子どもたちの視点から通学路を点検していただくということです。

この委員会は、国土交通省や群馬県、市の担当課などで構成され、点検結果をもとにグリーンベルトや信号機付近の安全帯設置などの検討をしています。安全なスペースを確保することは相手があることですので時間は掛かりますが、対応をしています。子どもたちの事故を出来るだけ少なくし、事故が起きても死亡事故や怪我を少しでも減らすなど、安全に通学出来るよう組織として対応していますので、もし不安なことがありましたら、ぜひ学校や幼稚園、区長などを通して伝えていただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

◆通学路安全対策協議会について

【質問】

通学路安全対策協議会の事務局はどちらになりますか。私は毎朝旗振りをしています、付近のポールが事故で壊れているところがあります。そのポールを直してもらいたいで、事務局を教えてくださいたいと思います。

【回答】（教育長）

通学路安全対策協議会の事務局は教育委員会ですが、各学校が窓口となります。年度当初に1年間でいただいた意見を集約し対応を検討していますので、該当する学校に仰っていただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

その後の対応状況

5月21日（火）に質問者ご本人と現地確認を行い、結果としてポールは県道に設置しており、群馬県の所有となるため、伊勢崎土木事務所に修繕の依頼をする旨の説明をしました。

◇閉会あいさつ（市長）

皆様には本日、大変お忙しい中、また夜分でお疲れのところ市政懇談会にご参加いただき、誠にありがとうございました。また、先ほど質疑応答では貴重なご意見をいただき、本当にありがとうございました。現在の伊勢崎でございますが、先ほどの報告にもありましたとおり一番の目標としているのが、将来に渡って人口が減ることのない元気であり続ける伊勢崎を目指しております。お陰様で、昨年10月1日現在で国が纏めました全国市区町村の異動人口調査によりますと、その直近1年間で伊勢崎は700人の人口が増えているという報告もございました。このような状況を引き続き続けてまいりたいと思っておりますが、そのためにもここにお集まりの皆様、また市民の皆様のご協力なくしてできるものではございません。どうぞこれからも皆様のご指導、ご支援、ご協力を引き続きよろしくお願いを申し上げましてお礼のあいさつに代えさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。

5 閉 会（企画調整課長）